

するだけ

拾参。
バニシング

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



珍しいことも
あるものね…

……
あらあら…



…「流し雛」なら
いざ知らず…

…山から

■が「流れて」
くるなんて…

3

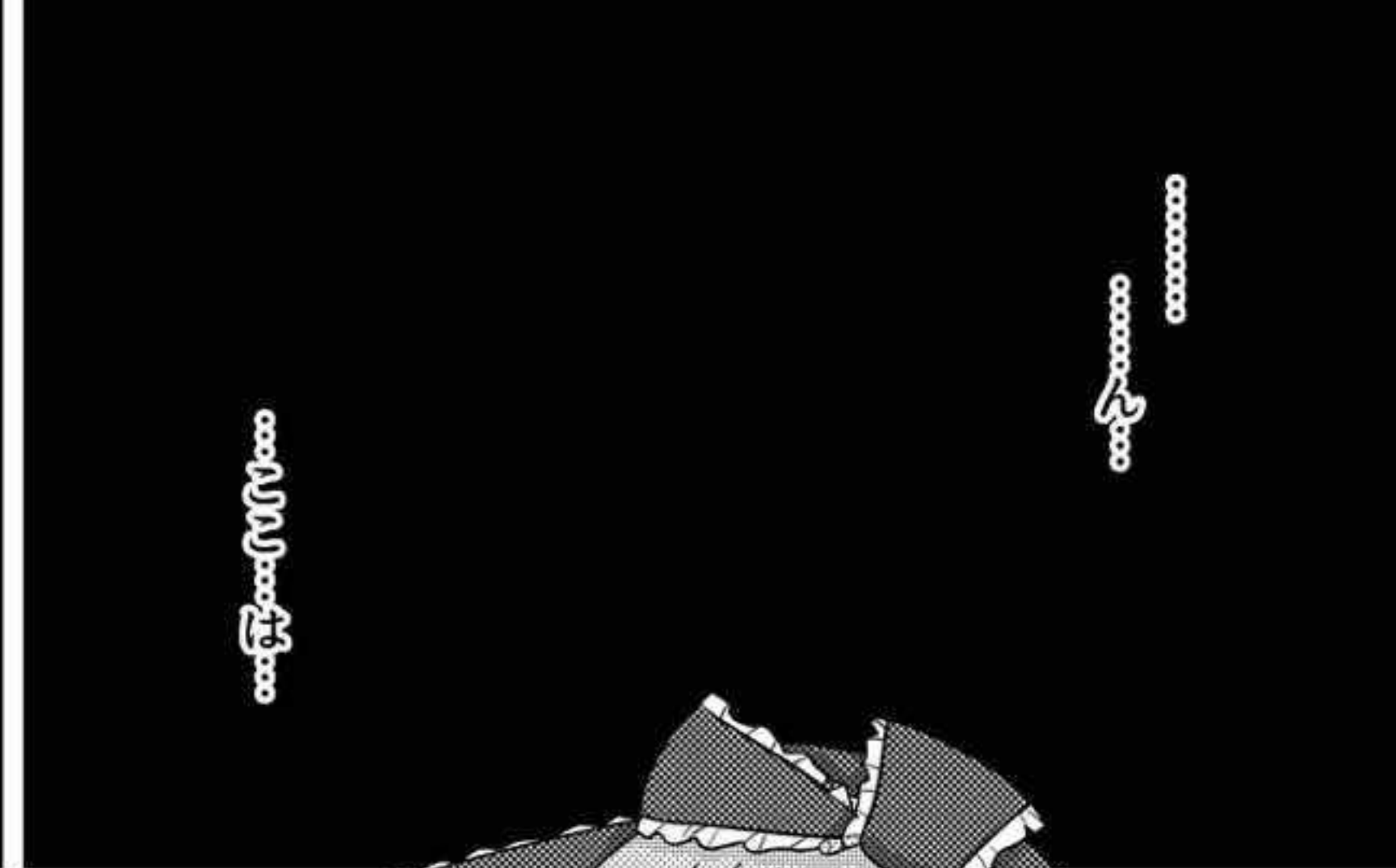


なるほど…



……

…うん…





貴方の…

暴れの
のたうつ
大蛇のように…

醜悪で…
禍々しい…

『厄』を
見れば…



なん…でっ…

「何で」?

そんなもの…
見れば分かる
じゃない…



ひとり…
この山に…

…や…っ…



そして貴方は…
親兄弟…友人知人に
至るまで
…喰い尽くされて…

孤独と…
罪の意識に
耐えかねた
末に…



…もはや
「宿業」と呼ぶ
べきかしら…

親から子へ…
子から孫へ…

積もり積もった
厄おのり澱りが…

貴方の代で
…牙を剥いた



厄やく神しん…
…さま…?

ほ
ほんと…に…?

ええ…
如何いかにも…

たっ

た…
たすけて…
くだ…さいっ…



こんなの…
…やだ…っ…



み
みんなっ…
…みんな…
死んで…

いつもっ…
おれ…だけ…
…ひとり
のこって…っ…

もう…
行くとこも
なく…てっ…

…おれ…
もう…
こんなの…



多生の縁…

!?



「袖振り合う
も…」



…そうね…



「診て」あげる…

びっびっ

ちゅら



…いいわ
貴方の厄…

…もう少し
「詳しく」…

ヒッヒッ

ホッホッ



びっびっ

ちゅら

ちゅら



…これは…
見立て以上に…
クドいわね…

胸焼けしそ…

……っ

…ああのっ
そ…それで…

…結論から
言…と…



……ん…



ぐくぐく

ぐくぐく



む
無理って…

…『時間』よ

私に…集め
祓えない厄など
無いけれど…

全てを瞬時に
祓えるわけではない…
厄が大きければ…
それだけ時間もかかるわ…

…幾代にもわたる
膨大な厄では…
一層…ね…



…貴方の厄を
完全に
祓い切るのは…

無理…
でしょう…ね…

…え…



貴方の寿命が…
尽きること
でしょう…

……っ



それは
例えるなら…
「泉の水を
柄杓で汲み切る」
ようなもの…

二十年…
三十年…
…いいえ
もっとかしら…

…おそらくは…

泉が枯れるより
先に…



セッ…かく…
あえ…た…
の…に…

…う…あ…あ…



…う…う…っ

う…あ…っ

あ…あ…あ…っ



厄を祓い切るのは無理だとしても…

これ以上…厄が溜まるのを抑える方法ならあるわ…

…え…

…泉の“水源”を塞ぐ…ということね…

…その方法は…



でも…
…そうね…

…？



…もつとも

これも…難しいことには変わりないわよ…ね…

…厄は快活な生を厭うもの…



…自分の生に…“よろこび”を感じることに…よ

…よろこび…
…び…？



今…この子に必要なものは…

傷み切った心にもたちまち届くような…

…言わば…

…「劇薬めいたよろこび」…



心の安らぎや…充足感…

愛情…友情…夢…希望…

でもこの子はそれら全てを…

己が厄災によつて…

…一際残酷な形で喪った…



…甚だ…
下品…
…だけれど…

す…
…私が…
与えて
あげるわ…
…今の貴方でも
きつと…
感じられる…



…と
なる…
…だから…



…原始の
“よろこび”…



この世で
…最も明快な…

男の子には…
…やっぱり…
これ…かしら…

かあ

…
“肉の享樂”を…

…
…!!?





…そうよ…
その調子…

…美味しい…?
私の…性器は…

ええ
いいわ…
好きなだけ
舐めなさい…

今はただ…
己が衝動の
ままに…

貪りたい
だけ…

貪って
いいの…

舐めて
たい…っ…

わっ
わかん…
ないっ…

でも…
なんか
ずっと…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ずず

ちゅっ
ちゅっ



なっ…
なんか…

おれ…
ヘン…みたいっ…

…変…?
何が変なの…?

え…
えっと…

か…
からだ…がっ…
…どんどん…
カッカして…きて…



や…
厄神…さまっ…

…なあに?



ちんぽ...がっ...
がっちがち
に...っ...

ち...っ...

貴方の唾液で...
しとどに濡れた...

ここの窪み...
「膣」に...

その...
固く勃起した
「男性器」を...
奥まで
挿し込むこと...

それは...
「性交」する準備が
整ったという...
合図ね

せい...こ...?
...って...?

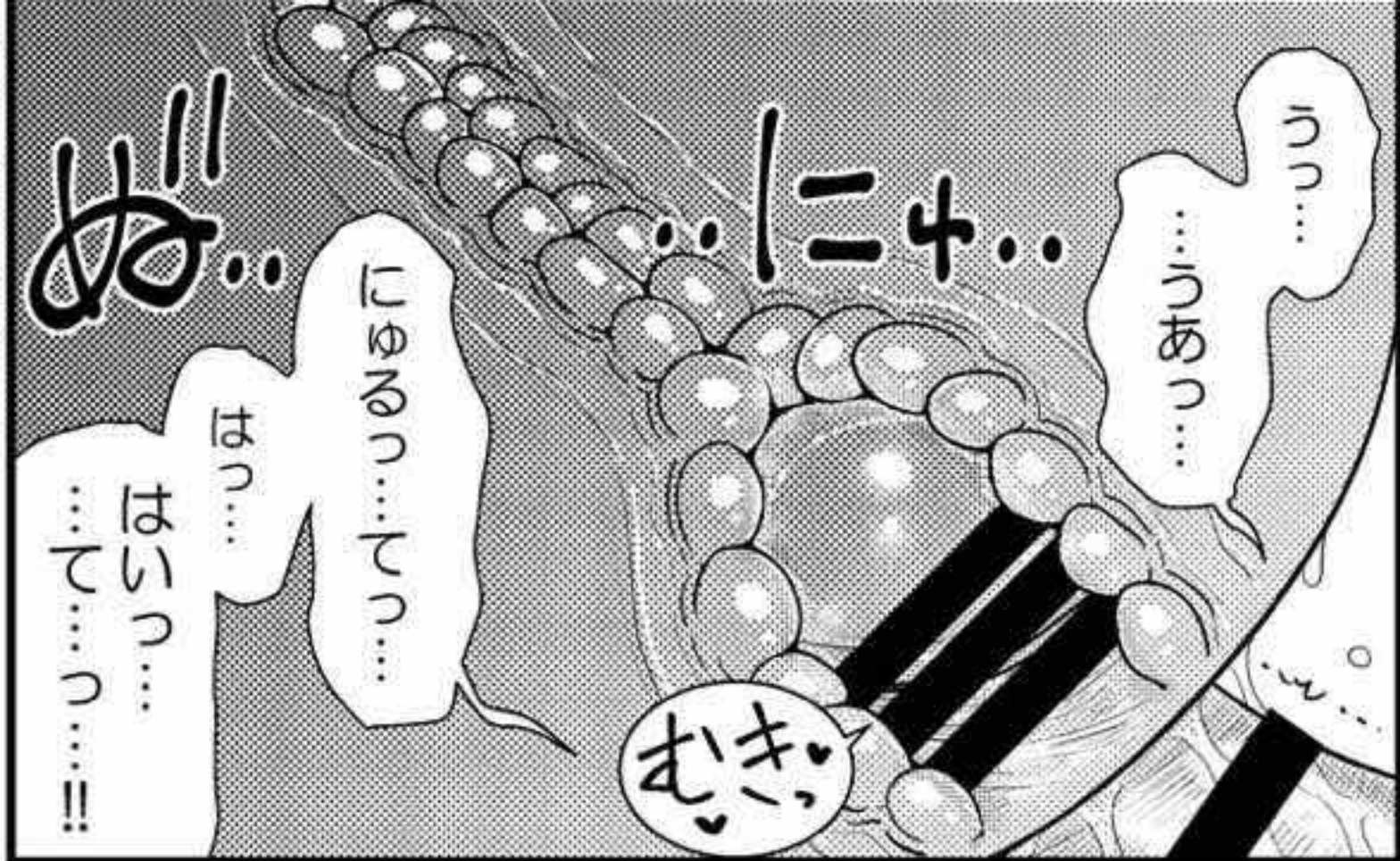
...とても...

心地の良い
こと...よ

くほ

とろ...!!

...っ...!!





…教える
間もなく…

一生懸命
腰を振って…

…きつと
本能でわかる
のね…



…そうよ…

それで
いいの…

キモチいい

理性など
捨てて…

一心不乱に…
味わいなさい…

生きている…
肉の温かさを…

『雌』を犯す…
…『雄』の快感を…



…ん…

「生きていて
よかった」…と…

そして…
…なにより…

心から…
そう…思える
ような…



…そんな…

…素晴らし…い…

…うふ…

カクカクカク

ひさっ

ぬーぬーぬーぬー

トントントント

ニっニっ

ん…

“快樂”…を…



や…
やんしゅん…
やまじゅ…

…ん…

にゅほ

ぬほ

な…

なんっ…か…

しゅ…
しゅっ…べっ…

ぬーぬー

でっ

…「しゅ…べ」…?

…ああ…

ん…

ん…ん…



.....

「小便」か...

「この子...
今...精通...
したの...ね...」

「んっ...」

「私の...膈で...」

「生まれて...
初めての...射精...」

あずあず...!!!

じゅじゅ...!!



あつ...
ああ...あつ...

「しよんべ...んっ...
ととまん...
な...っ...」

「貴方が今...
放っているのは...
「精液」...よ...」

「いいえ...」

「せー...
えきっ...?」

「そう...」

「貴方の遺伝子が...
たっぷり...
詰まった...
...生命の素...」

どく...どく...

どく...どく...どく...



「もっと...
生きたい...」

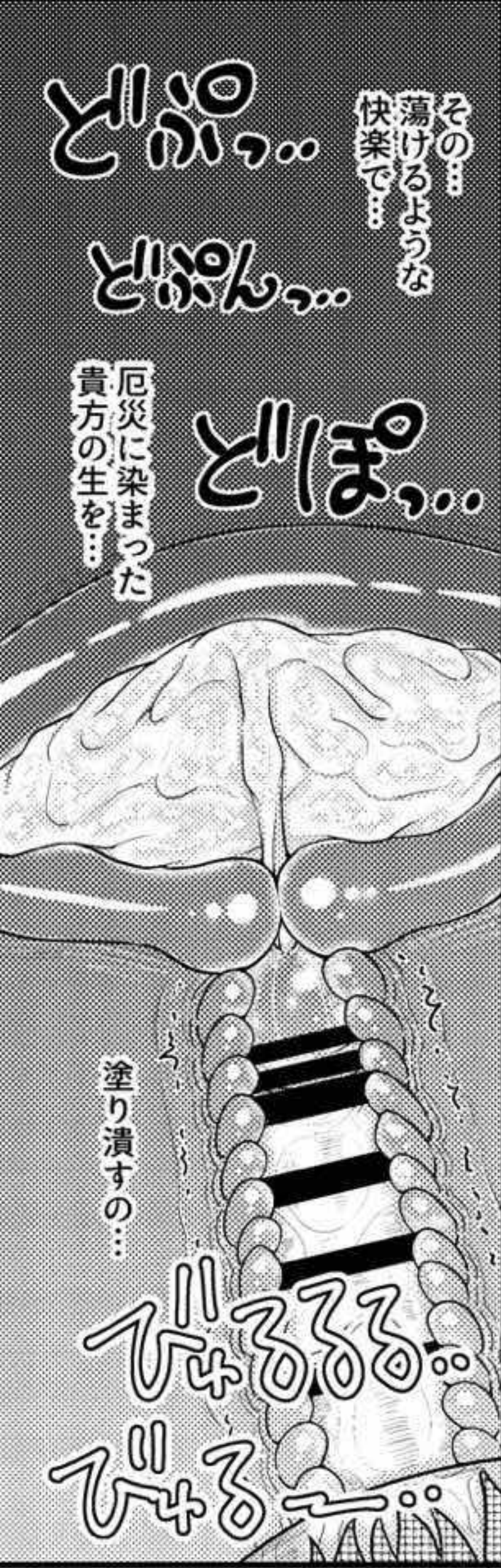
「未来に命を...
遺したい...」

びゅるびゅる...
びゅるびゅる...

「そんな「欲」が...
精液に形を...
変えて...」

「今...
貴方の身体から...
飛び出してるの...」

「いっ...
いきた...い...」



その...
蕩けるような
快楽で!

厄災に染まった
貴方の生を!

塗り潰すの...



ええ...
出しなさい...

たくさん
たくさん...

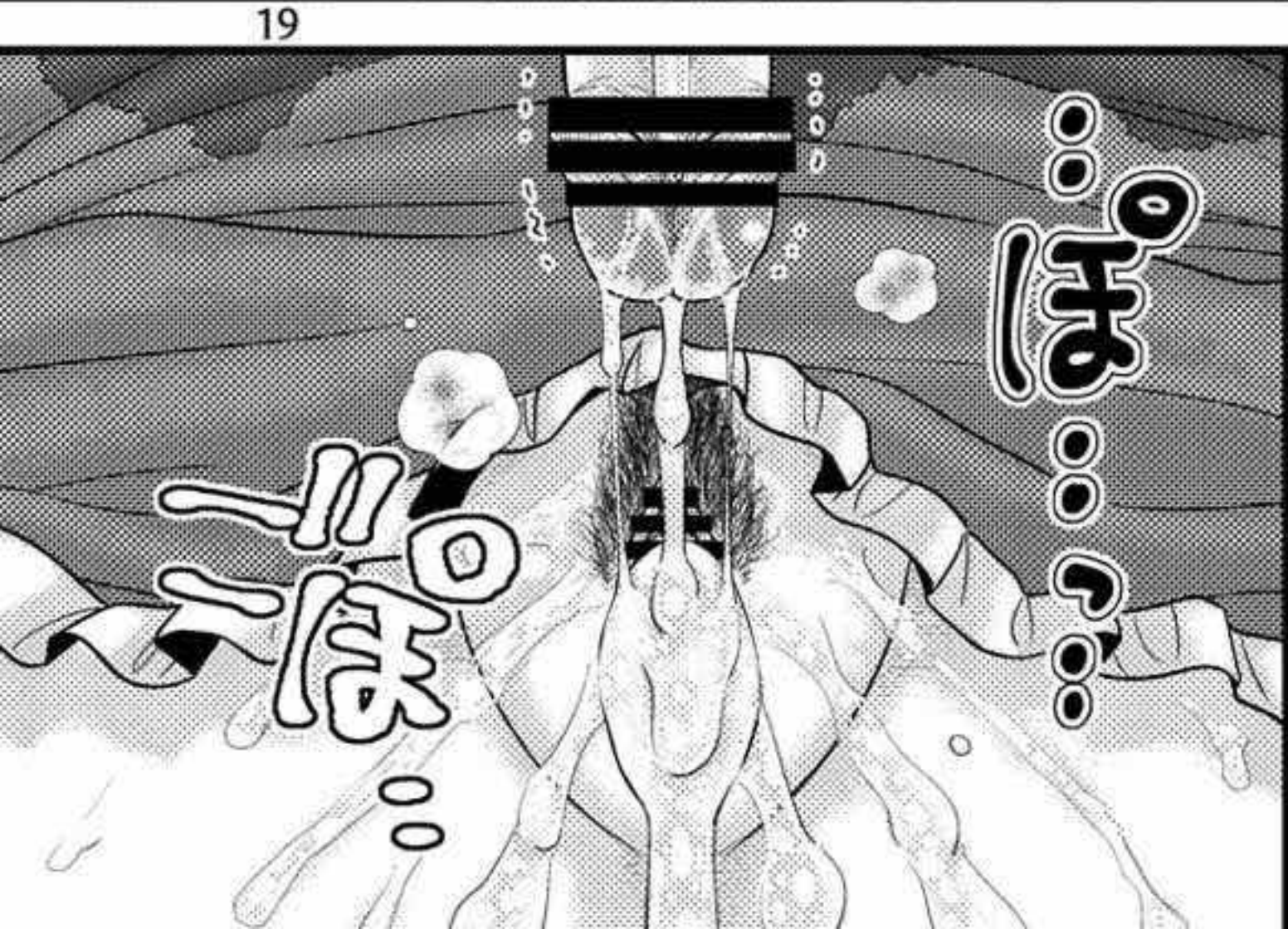
腰が砕ける
ほどに...

射精して...

これ...がっ...
おれ...の...
「いきたい」...
...なの...の...!?

とても気持ち
良いでしょう...?
身体の奥底から...
熱の塊が
どくどく溢れて...

そうよ...





ん…
…む…
ちゅく
ちゅく..
ちゅく..
ちゅく..

鮮烈…に…
…濃…密に…

もつと…
…劇し…く…

貴方の…人生に…
…“よろこび”を…

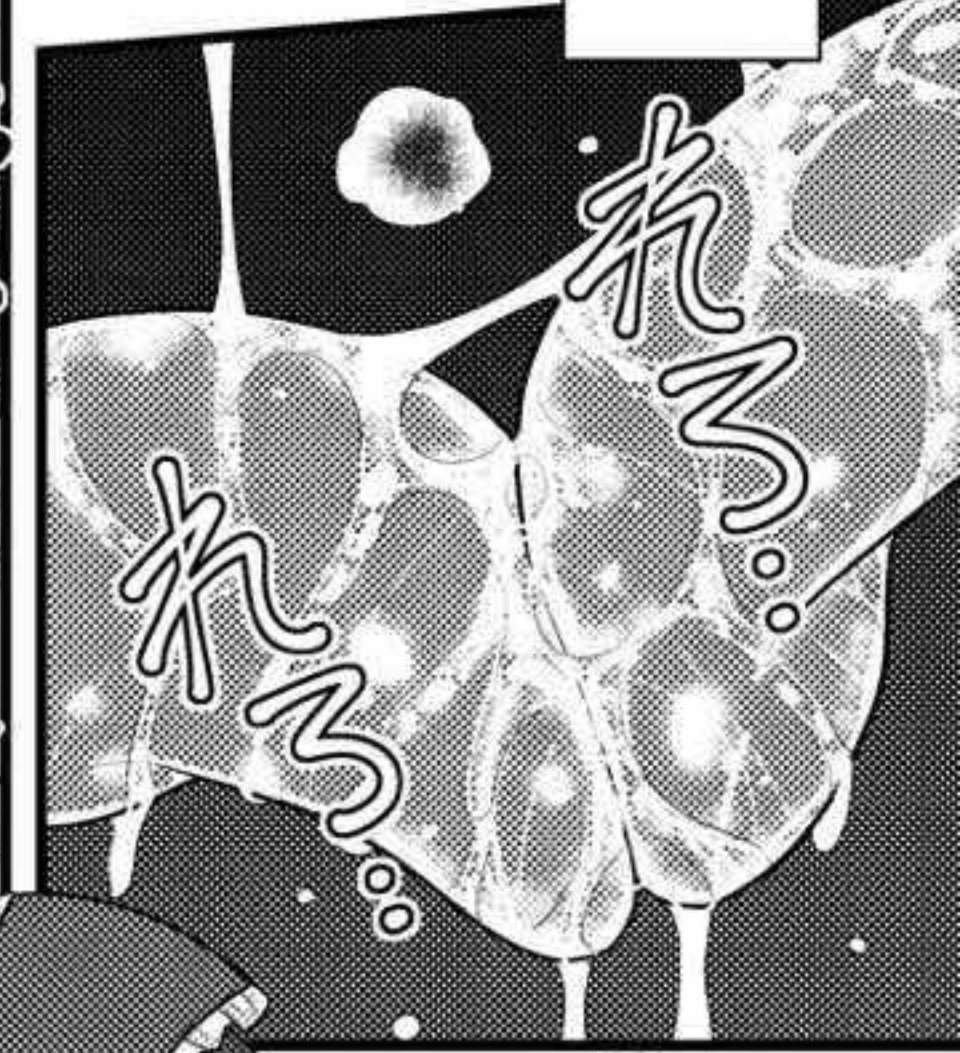
…一度と…
消える…
…この…ない…

…烙印の…
ように…



はあ…
はあ…

与えて
あげる…



れろ。
れろ。



あ…あああ…!!

あっ

…ん…

焼き付けて…
あげ…る…
から…

あっ
あっ…

あっ
あっ
あっ



あひいびびっ!!!

...ん...んっ

びびる

びびる

びびる



あ...あ...

あ...あ...

すべてを忘れて...ね...

あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...



びびる

びびる

狂った機械の ように...

ただただ 精を吐き出して...

快楽の波に 溺れ...沈むの...

あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...



出しなさい...

たくさん たくさん...

射精して...



…本当に…
寝てしまった
の…？

…「精魂」
尽き果てる」とは…
このことかしら…

…ふー…

…ん…

…つい
先刻まで…

めそめそ
してたのが
嘘のよう…ね…

もろあ

へとあ

ホカ

ホカ



…甘い疲れに
包まれながら…

スー…

スー…

今は…
…ゆっくりと…

お休みなさい



幽かだけど…
厄の動きが
落ち着いている…

…こうして
厄の溜まりを
抑えつつ…
地道に集めて
いけば…

周囲への災禍も…
…僅かながら
収まるでしょう…

…ほ…
…ほん…と…?

でも…
時間がかかることに
変わりはないわ…



……

……うん



…だって
その間は…

や…
厄神…様が…
…そばにいて
くれるん…でしょ…?



…貴方の寿命が
尽きる前に…

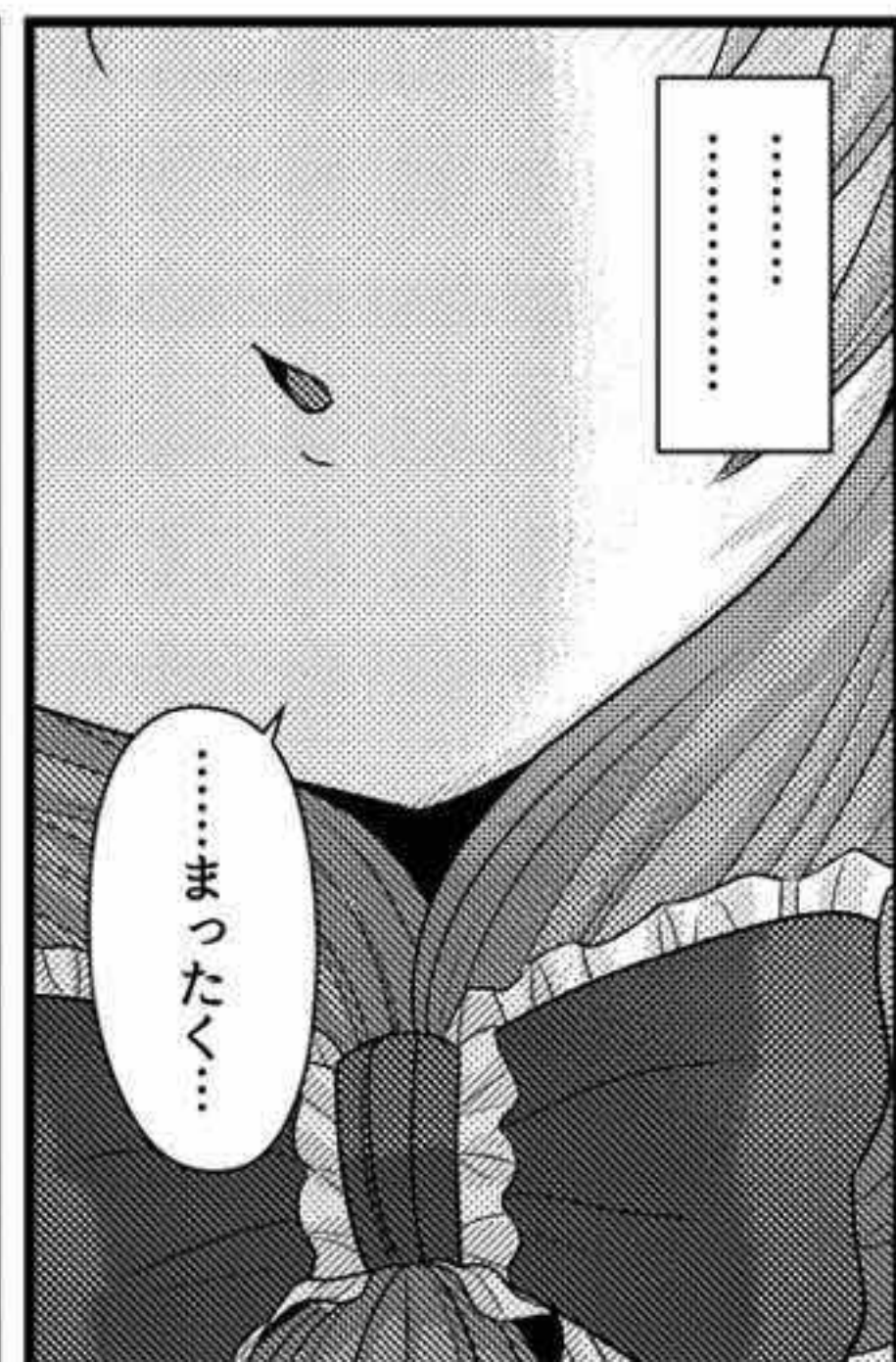
人里に下りられる
保証は…
…依然として—

だっ…
…大丈夫…



貴方の人生…
つくづく…
"厄"に塗れてる
わね…

……ええ…



……

……まったく…

**SURUD
AKE
13
!!!**

